

全国学力・学習状況調査の調査結果について

白露の候 保護者のみなさまには益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。日ごろは、本校の教育活動にご理解とご支援をいただきありがとうございます。

さて、4月17日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の調査結果は、文部科学省から7月に届き、懇談会で配付しました。

つきましては、下記のとおり調査結果の取り扱いに関する方針と本校の結果の概要をお知らせします。また、お子様の結果につきましても、配付された個人票をご覧ください。

記

1 調査結果の取り扱いに関する方針

文部科学省および愛知県教育委員会は、結果の公表について、「本調査により測定できるのは学力の特定の一部分であること、学校における教育活動の一側面に過ぎないことなどを踏まえると共に、序列化や過度の競争につながらないように十分配慮する」という方針をとっています。本校もその方針を受けて、本校の傾向を国・県の状況を踏まえて分析し、改善すべき点の把握に努めていく目的で調査結果を取り扱います。

2 本校の概要

国 語	・伸ばしたい点がある。 ・観点別では、「知識・技能」、「思考・判断・表現」に課題がある。 ・書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる程度できている。 ・今後は、目的に応じて、文章や図表から必要な情報を見つけだし、根拠を明確にして考えを述べられる力を伸ばしたい。 ・自分の考えが伝わるように、図表などを用いて書き表し方に工夫して表現できる力や、自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えられる力を伸ばしたい。
算 数	・満足できる状況であるが、伸ばしたい点がある。 ・観点別では、「知識・技能」「思考・判断・表現」が共に高い。 ・図形を構成する要素に着目し、図形の面積を式や言葉を用いて求めることができる。 ・平行四辺形の性質を基に、コンパスを用いて平行四辺形を作図することができる。 ・伴って変わる二つの数量に着目し、答えを求めるために必要な数量を見いだし、知りたい数量の求め方と記述することができる。 ・今後は、割合に関する問題の解釈をきちんと理解し、比べる数量はもとの数量の何倍になるか表せるようにしていきたい。
理 科	・満足できる領域もあるが、伸ばしたい点がある。 ・観点別では、「知識・技能」「思考・判断・表現」に課題がある。 ・電気について金属の伝導、不伝導や、乾電池の直列つなぎに関する知識が身に付いている。 ・「氷は温まると体積が増える」を根拠に、海水面の上昇を予想し、表現することができる。 ・今後は、植物の観察で顕微鏡を適切に使う技能を身に付けたり、発芽に必要な条件について条件制御の解決方法を考え実験し、検証する力を伸ばしていきたい。
児童質問紙	・算数の勉強が好きで、算数が得意と感じている児童が多い。 ・多くの本を所有している家や、新聞を読んでいる児童が全国平均よりもやや多い。 ・地域の大人に授業や放課後、勉強やスポーツに関わり一緒に遊んでもらう児童がやや多い。 ・分からないことや詳しく知りたいことについて、自分で学びを考えたり、工夫して調べたり、話し合いで自分と違う意見について考えることが楽しいと感じる児童が少ない。今後は、対話型の授業展開を工夫し、多様な意見を聞き、新たな考えを知ることが楽しいと思える授業作りに努めていく。 ・困りごとや不安があるときに、先生や大人にいつでも相談できる児童がやや少ないので、児童との人間関係づくりに努めていく。

※ 個人票の見方等について質問がありましたら、担任までご相談ください。